

議長

次に、質問順位5番 7番議員 上岡富士夫君。

議長

上岡富士夫君。

上岡議員

それでは、通告に従いまして一般質問を行います。

まず、関ヶ浜1丁目、2丁目の地区児童の町内巡回バス通学について教育長、町長にご質問したいと思います。

5月15日(水)午前中、関ヶトンネル多田側で熊を目撃したという情報があり、5月28日、12時10分頃、小瀬方面から関ヶトンネル方面に向かって動く小熊が目撃されました。5月29日、11時20分頃、蜂ヶ峯公園の車止めで熊が目撃され、11時30分、蜂ヶ峯の登り道で熊の目撃情報がありました。6月17日、18時22分頃、中学校男子生徒が山の手地区で親子の熊を目撃した情報があり、和木駐在所の所長が山の手砂防ダム横の階段を何度も登り、調査したところ、熊の足跡を確認したそうでございます。7月8日(月)17時40分頃、関ヶ浜1丁目宗永寺の裏山で熊が目撃されました。8月15日(木)の午前9時頃、蜂ヶ峯団地に猿が出没しました。イノシシの出没情報もございました。関ヶ浜町民からの報告で、関ヶ浜1丁目の車庫の軒下温度は40℃、アスファルト路面の温度は50℃以上になっており、異常気象が続いております。関ヶ浜の子供達は、約2kmの県道を歩いて通学しております。関ヶ浜1丁目の道路が狭く、関ヶ浜川のガードレール横の狭い白線の中を通学しておりますが、毎日、大型ダンプカー、大型トラックが通っている危険な通学路でございます。生徒のお母さんの話によりますと、大型ダンプカーが上ってきたので、橋のガードレールと通学路のガードレールの隙間に避けようとして誤って子どもが川に、自分の子どもがですね、川に転落したと、それで怪我をしたそうです。そこで、私は、関ヶ浜地区を訪ねてですね、歩き回りました。保護者のご意見を聞いてみました。すると、関ヶ浜1丁目・2丁目の児童の保護者は、安全面を考えて、バス通学を希望しておられました。最近、気

令和元年第5回(9月)定例会

温も高く、アスファルトも高温になり、2 kmの道のりは大変だろうと想像いたしました。大雨が降った時は、着替えやソックス等々を持参して、学校で履き替えているそうです。大雨の時には、一部のお母さんが自家用車で送り迎えをしている方もいますが、関ヶ浜に住居を新築して、夫婦で働いておられる若い方が多く、自家用車で子供の送り迎えが出来ない親がほとんどでした。若いご夫婦に面談してみますと、保護者の全員が「あいあいバス通学」にして欲しいと話してくれました。問題なのは、和木町でも痴漢事案や誘拐未遂事件等もございました。全国的に見てみますと誘拐、殺人事件等が発生しております。保護者としては、命に関わることにに関して大変心配しておられる事と思います。これらの事からは是非バス通学を実現していただきますよう望みます。和木町のあいあいバスの時刻表は、平成24年4月11日改正から現在まで時刻が改訂されておられません。関ヶ浜の児童が、「あいあいバス通学」が出来るなら、あいあいバスの時刻表の改訂をお願いして、関ヶ浜から小学校に到着する時間が7時50分ぐらいには到着出来るように、町の担当課をお願いして頂きたいというお話もございました。

そこで質問でございます。

まず教育長にお伺いたいと思いますが、度々お聞きしてきた関ヶ浜地区のバス通学のアンケート結果について保護者がバス通学を望んでいないという返答があったようですが、それはいつお調べになったのか教えていただきたいと思います。

議長 重岡教育長。

重岡教育長 上岡議員のご質問にお答えをさせていただきます。

学校アンケートにつきましてですけれども、毎年2回、1学期末の7月と3学期初めの1月に児童・保護者・学校運営協議会の委員・教職員を対象に教育活動全般についての学校評価アンケートを実施しております。通学に特化したアンケートではありませんけれども自由記述欄等にバス通学を望む意見はなかつ

たと聞いております

また授業参観等の後の学級懇談会、あるいは学年懇談会等におきましても、バス通学に関する意見はなかったというふうに聞いておるところでございます。

議長 上岡富士夫君。

上岡議員 私が保護者にお尋ねしますと、ほぼ全員に近い方、バス通学に賛成であったが、その結果をどうお考えになりますか。

議長 重岡教育長。

重岡教育長 どのようなお尋ね方をされたのかは知り得ませんけども、初めのお話の中にも「保護者は、安全面を考えてバス通学を希望しておられる」ということでございました。

ここ最近のクマやサルなどの目撃情報、車の往来、天候等や昨年のブロック塀の倒壊事件等も含めて、園や学校、教育委員会も危惧しており、必要に応じて見守り活動を強化したり、保護者に迎えに来ていただいたり、管理職の車による安全下校を行ったりいたしました。通学路の安全確保は、児童の「生きる力」を育む教育の保障という観点や児童の発達段階、地域の自然環境・道路環境、地域住民の思いや願い等を総合的に勘案して検討する必要があると考えます。

なお毎年、夏季休業中に通学路安全推進会議を開催しており、和木町安全マップ等を参考に現地を確認しながら、「交通」と「防犯」の両面から協議・検討を行っております。毎回、バス通学という提案意見はありませんし、検討も行っておりません。それは、通学距離の基準である「小学校4 km、中学校6 km」を超える地域・地区が、和木町にはないからでございます。

昨今の児童生徒の体力低下が心配される中、約2 kmという距離の徒歩通学は、体力の向上にもつながっていると考えます。

また、スクールガードの方々に見守られながらの集団登校

令和元年第5回(9月)定例会

は、規律性を培うことや、異なった学年の児童との関わりにより、豊かな人間形成にも寄与しております。高学年が低学年の世話をすることにより、責任感やリーダーシップが醸成され、責任ある言動が期待できます。

このように、知徳体の調和のとれた「たくましい和木っ子」の育成という観点から、保護者の皆様や地域住民の皆様には、徒歩通学についてご理解をいただきと考えております。

議長 上岡富士夫君。

上岡議員 教育長がお話になった4kmの法的根拠についてお伺いしたいと思います。いかがでしょう。

議長 重岡教育長。

重岡教育長 「義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令」に、「通学距離が、小学校にあってはおおむね4キロメートル以内、中学校にあってはおおむね6キロメートル以内であること」と基準が示されております。

これは、昭和30年代の市町村合併(いわゆる昭和の大合併)による学校の統廃合によって、学校の規模や通学距離の見直しがされました。その際に、バス通学補助(国庫補助ですけども)の基準として定められた通学距離が、先ほどの小学校4km、中学校6kmでございます。

平成10年代にも市町村合併(いわゆる平成の大合併でございますが)が行われ、この時も多くの学校統廃合がありました。その後も、児童生徒数の減少等に伴い、今日においても全国各地で学校の統廃合が進められていることから、文部科学省の中央教育審議会において公立小中学校の適正規模と通学距離等に関する基準が見直されております。これを見ますと、小学校4km、中学校6kmを通学距離の上限とするということは変わらないんですけども、に加えて1時間以内を一応の目安にすると

令和元年第5回(9月)定例会

いう時間についての基準も示されております。この距離や時間等を勘案して、学校の管理下である登下校の「通学路」や「通学方法」等については学校が指定し、学校から教育委員会に報告するということになっております。

議長 上岡富士夫君。

上岡議員 それでは、町長にお伺いしたいんですが、和木町としてですね、特色のある町の独自の事業で、あいあいバスに対して対応は出来ないか。また、今、基準では4kmということですが、2kmでも可能に出来ないかどうか。給食でも和木町独自の事業をやっておられます。関ヶ浜の若い保護者は、全員がバス通学を望んでいますので、町長の考えをお伺いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

議長 米本町長。

米本町長 上岡富士夫議員さんの特色のある町の独自の事業で、あいあいバスに対して対応は出来ないか、また2kmでも可能に出来ないかなどのご質問にお答えをしたいと思います。

熊の出没・猛暑・突然の豪雨、子どもたちを取り巻く環境が私たちの小学校のころとは大きく変化をしていることは、今、上岡議員さんご自身がおっしゃったとおりであり、保護者の方々が「できれば」バス通学を望むという心情は理解できるころではございます。

ただし、ここまでの教育長の答弁にあった、通学路及び通学方法に関する考え方や文科省における調査・検討の結果からバス通学のメリットだけではなく、デメリットもあわせて総合的に判断する事案だというふうに認識をしております。

また、小学生のバス通学について考えるのであれば、関ヶ浜地区に加え、通学距離がほぼ同じである瀬田1丁目、また和木5丁目からも、同様の要望が寄せられる可能性もあります。

令和元年第5回(9月)定例会

また一生懸命通学路を点検して下さった方々、それから子どもたちの安全を守っておられますスクールガードの皆さんの事も考慮する必要もあるのではないかというふうに思います。

またあいあいバスで登校をとということでございますが、バスで通勤されている方々の時間的な事もしっかりと把握する必要があります。軽々に時間をいらっていいものかどうかというものもしっかりと考えて行く必要があります。

私個人からすると、徒歩通学が子どもの体力向上に寄与している可能性が高いこと、私の小さい頃は、瀬田・関ヶ浜の子どもさんはいつも運動会では選手リレーに出られるぐらい体力をつけられた方が多かったというふうに思っております。

また現時点で、希望する全ての小学生が利用可能なバスを運行することは極めて困難ではないかなというふうに思う事を鑑みまして、小学生のバス通学については、今しばらく現状のまま様子を見ることとしたいと考えております。

現在では、学校、及び教育委員会の判断を支持をさせていただきたいというふうに思いますので、ご理解をいただければというふうに思います。

議長 上岡富士夫君。

上岡議員 すぐという訳にはいかないとは思いますが、できるだけ早い時期にそういうことは出来れば若いお父さん、お母さん方非常に喜ばれる、仕事にも、お勤めされてますので、そういうことで安心安全のことを考えていただければと思いますのでよろしくお願い致します。

以上です。

議長 再質問はございませんか。

議長 再質問がないようですので、以上で上岡富士夫君の一般質問を終わります。

